

## 南山～志田峠～三増合戦場

山行日：2017.2.4

会山行 8 名参加

天候：晴れ

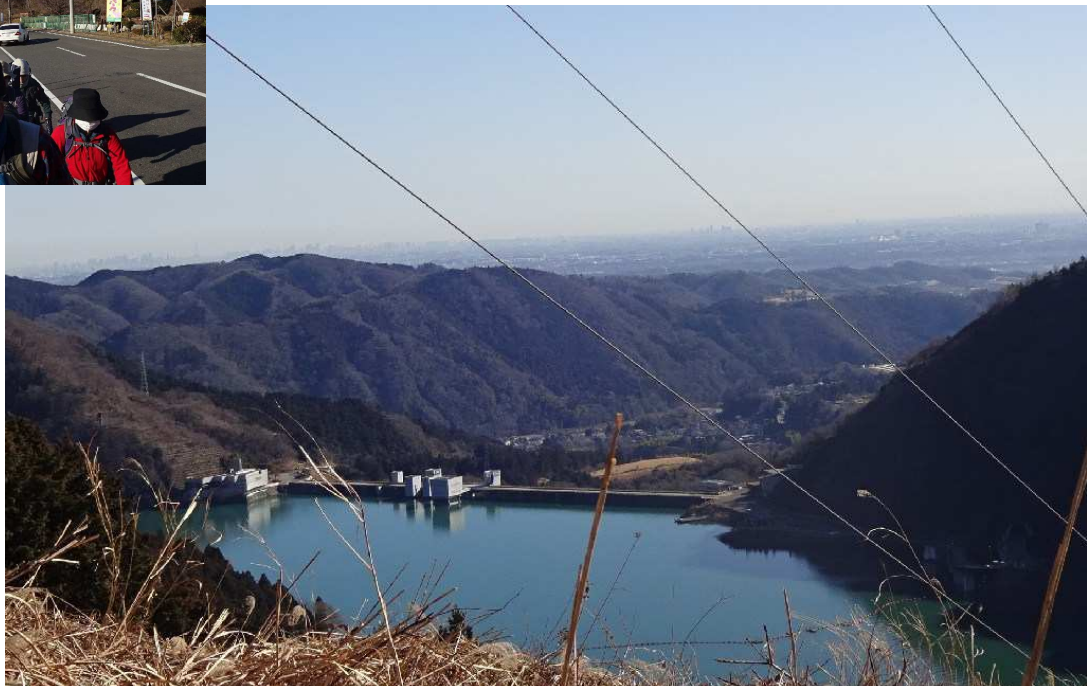
t.h

コース：橋本/7:55－鳥居ふれ合いの館/8:50－鉄塔/9:50－権現平/10:25－南山  
/11:05－おぎのパン/12:05～12:40－志田峠/13:15－信玄旗立松/14:00  
－三増合戦場/14:40－田代バス停/15:20～15:58－本厚木/16:40



鉄塔からは  
これから歩いて行く  
コースが一望だ

蛭ヶ岳の右隣に  
白馬尾根が見える





甲斐駒ヶ岳が見えている



権現平を過ぎて

相州アルプス、大山、大山三峰、鍋嵐  
丹沢三ツ峰、丹沢主脈が一望



南山ピークで



山道歩きはここまで  
これよりは一般道に行く



荻野パンでランチ





下記は 10 年前志田峠の風情ある林道  
現在は残土捨て場と化して全く風景が  
一変していたのだった



信玄の旗立松は  
ゴルフ場内に入って行く



**武田信玄旗立松の趾碑の解説文**

右に記している「武田信玄旗立松と趾碑」又は「日本紋章の権威、沼田頼氏」との、概観、次のようになっています。

当地村津久井に在る北條の山嶽を東西に亘ります。その中、東に傾斜するを中峰と呼び、西に傾斜するを四方の展望を、麓の村に下る人馬は巨松にしがみつき、山の峰に上る者の松が奇麗と仰り、天を仰ぎ、里の人々これを「武田信玄旗立松」と呼びます。古くは、永享二年十月八日、信玄が北条氏政軍と当地を戦った時、旗をこの松の上に掲げたといふ由來に、よりこの地を希望にあらざらざらざら、つまりこの地は信玄の足跡を仰いだ所である。松の樹木は信玄の心に触れたものという説があります。それから三百年を経て、松に吹く風は、今もその余韻を伝へ、人々の心、魂を揺るがす。近年の火災により、樹木はここに僅かある松も、一見、別のことと見受けられます。

当地村津久井に在る北條の山嶽を東西に亘ります。その中、東に傾斜するを中峰と呼び、西に傾斜するを四方の展望を、麓の村に下る人馬は巨松にしがみつき、山の峰に上る者の松が奇麗と仰り、天を仰ぎ、里の人々これを「武田信玄旗立松」と呼びます。古くは、永享二年十月八日、信玄が北条氏政軍と当地を戦った時、旗をこの松の上に掲げたといふ由來に、よりこの地を希望にあらざらざらざら、つまりこの地は信玄の足跡を仰いだ所である。松の樹木は信玄の心に触れたものという説があります。それから三百年を経て、松に吹く風は、今もその余韻を伝へ、人々の心、魂を揺るがす。近年の火災により、樹木はここに僅かある松も、一見、別のことと見受けられます。

昭和三年九月中旬  
沼田頼氏  
高梨貞義書

平成十年十月十日  
愛川町教育委員会



武田・北条軍が戦った  
三増合戦場を見下ろす

